

2014年3月政情（内政・外交）

1. 内政

（1）次期総選挙に向けた動き

ア 9日、パナメニスタ党のモスコソ元大統領は、大統領選でアリアスCD党候補を支持することを表明した。

イ 大統領選に出馬する7候補が、選挙倫理協定（3月14日）、反人種差別協定（3月21日）、子供のための協定（3月21日）及び女性、発展、平等のための協定（3月27日）に署名した。

ウ 27日、フローレスOAS選挙監視団代表がパナマを訪問し、選挙裁判所などの関係機関にインタビューを行った。

（2）世論調査結果

ア 大統領選に関し、31日に実施されたIPSOS社の調査によれば、アリアスCD党候補及びナバーロPRD党候補の支持率が32%で並ぶ結果となっている。他方、その他各社の調査によれば、依然としてアリアスCD党候補がトップを走り、数ポイント差でナバーロPRD党候補、さらに数ポイント差でバレーラ・パナメニスタ党候補が続く形となっており、各社の分析が分かれる結果となった。

イ 現大統領及び現政権への評価は、これまで同様、肯定的評価が否定的評価を大幅に上回っている。

ウ パナマ市長選に出馬する各候補の支持率は、各調査会社とも、ファブレガPRD党候補が優位に立っており、メンデスCD党候補（現職）、ブランドン・パナメニスタ党候補がそれに続いている。

2. 外交

（1）アルバレス・デ・ソト外相の訪日

アルバレス・デ・ソト外相は、初の外遊先として日本を公式訪問し、2日、岸田大臣との間で外相会談及び夕食会が行われた。会談では二国間関係の強化、海事分野における協力やパナマ運河の通航料、「パナマ首都圏都市交通3号線整備計画」への円借款供与、国際場裡における協力関係などについて話し合われた。

（2）ベネズエラとの外交関係断絶

ア ベネズエラ情勢について協議するため、パナマが米州機構（OAS）における外相会合の開催を要請したことを受け、5日、マドゥーロ・ベネズエラ大統領は、これを内政干渉であるとしてパナマとの外交関係断絶を宣言した。7日、OASにおいてベネズエラ情勢に関する共同宣言案が賛成多数で採択されたが、パナマは内容が不十分であるとして、米国、カナダとともに反対票を投じた。

イ 21日に行われたOAS常設理事会において、バジャリーノ・パナマOAS大使は、パナマからの特別代理代表としてベネズエラのマチャド議員（野党）がベネズエラ

情勢について発言することを求めたが、加盟国のうち22カ国がこれに反対し、実現しなかった。

(3) アルバレス・デ・ソト外相のスペイン訪問

スペインを訪問したアルバレス・デ・ソト外相は、5日、フアン・カルロス国王を表敬訪問したが、6日、ベネズエラによる国交断絶宣言を受け、ガルシア＝マルゲージョ外務・協力大臣との会合をキャンセルし、急遽帰国した。

(4) アルバレス・デ・ソト外相のチリ訪問

11日、アルバレス・デ・ソト外相はバチェレ新大統領の就任式に出席するためチリを訪問し、同機会にジェイコブソン米国国務次官補及びタジャニ欧州委員会副委員長と会談した。

(5) 東日本大震災追悼式典の開催

13日、パナマ市内の日本庭園において、パナマ外務省主催で、東日本大震災の犠牲者を追悼するための式典が実施され、アルバレス・デ・ソト外相及び本使が出席した。

(6) カーター元米大統領のパナマ訪問

14日、マルティネリ大統領はパナマを訪問したカーター元米大統領と懇談した。同日、同元大統領は、7名の大統領選候補による選挙倫理協定の署名に立ち会った。

(7) マルティネリ大統領のホンジュラス訪問

21日、マルティネリ大統領はホンジュラスを訪問し、ラテンアメリカ経営者会議に出席したが、大統領府からは同訪問に関する発表は一切行われなかった。

(8) マルティネリ大統領のメキシコ訪問

24日、メキシコを訪問したマルティネリ大統領は、ペニャ・ニエト墨大統領と会談し、FTA妥結に向けた協議を行った。また、同行したアルバレス・デ・ソト外相とグアハルド墨経済相がFTA交渉妥結の覚書に署名した。

(9) ヤヒヤーガ・コソボ大統領のパナマ訪問

31日、マルティネリ大統領はパナマを訪問中のヤヒヤーガ・コソボ大統領と首脳会談を行った。

(了)